

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|----------------|----------|-----------------------|---|--|
| 家計 動向 関連 | ◎ | スーパー（店長） | 単価の動き | ・スーパーにおいては新型コロナウイルスの影響で巣籠り需要が生じている。 |
| | ○ | － | － | － |
| (北海道) | □ | 一般小売店〔土産〕（経営者） | 来客数の動き | ・緊急事態宣言は外出禁止令と同じようなものであり、店の前を誰も通っていない。売上は前年比3.3%となっている。 |
| | □ | 百貨店（役員） | 来客数の動き | ・3～4月と比べると回復の兆しがみられるものの、先行きが不透明なことから、景気は余り変わらない。 |
| | □ | スーパー（役員） | 単価の動き | ・4月と同様に、新型コロナウイルスの影響で家庭内食によるとみられる購入が増えている。買上点数の増加により、客単価は2けたアップしており、売上は前年実績及び予算を上回る状況で推移している。ただ、飲食業など、他業態の状況を見ると、現状は一時的なバブルとしか考えられない。 |
| | □ | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | ・今の状況がいつまで続くのか、まだまだ不安である。 |
| | □ | その他専門店〔医薬品〕（経営者） | 来客数の動き | ・ここ数か月の来客数の増加は特記するものがある。客は間違いなく新型コロナウイルス対策として、少しでも自衛できるものを求めている。マスクや消毒アイテムはまだ不足している。ただ、間違った知識や過剰な期待も相当みられる。1人ずつ丁寧に正しい防御方法を教えることを使命と思い、徹底して接客していくのみである。 |
| | □ | その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者） | 販売量の動き | ・自粛が長期間続いていたため、自動車用燃料の販売量が激減している。 |
| | □ | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・来客数の動きは前年及び3か月前と比べてほとんど変わらない。 |
| | ▲ | 商店街（代表者） | お客様の様子 | ・客の反応は決して良いものではない。新型コロナウイルスの影響がもろに響いている。 |
| | ▲ | スーパー（店長） | お客様の様子 | ・新型コロナウイルスの発生以降、ファッション衣料や化粧品などの不要不急の商材については、低迷から脱することができていない。 |
| | ▲ | スーパー（企画担当） | 来客数の動き | ・当店は食品スーパーのため、新型コロナウイルスによる特需で、売上は前年を数%上回っているが、他業種の状況が良くないため、景気はやや悪い。 |
| | ▲ | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・前月と比べて変化がない。各地でのイベント行事が中止となり、観光客の減少が続いている。 |
| | ▲ | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスの影響により、客の買上点数は増えているが、来客数は1割以上減少している。 |
| | ▲ | 家電量販店（店員） | それ以外 | ・自粛ムードにより、人の動きに回復の兆しがみられない。 |
| | ▲ | 乗用車販売店（従業員） | 来客数の動き | ・緊急事態宣言以降、客足が伸びていない。解除後も、そうした状況は変わらない雰囲気であり、例年よりも厳しい状況にある。 |
| | ▲ | 自動車備品販売店（店長） | 販売量の動き | ・新型コロナウイルスの影響による自粛に伴い、来客数や売上が減少しており、経済が回っていないと感じる。緊急事態宣言解除後の動向に期待している。 |
| | × | 商店街（代表者） | それ以外 | ・自粛要請により、人出が今までにないくらい減っている。集客ができていない店舗でも2～3割の減少となっており、集客がしっかりとできていない店舗は7～8割の売上減となっている。また、休業している店も増えており、これまでに経験したことがないほど、街が閑散としている。 |
| × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | ・前月に引き続き、5月も来街者数が激減している。既に廃業を決めた夜型飲食店もあり、状況はますます厳しいものとなっている。昼間においても、区域内の駐車場、駅、バス停などの利用者が少なく、商店街内の店舗にとって深刻な状態が続いている。 | |

| | | | |
|---|----------------|--------|--|
| × | 商店街（代表者） | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言が解除され、一部の業種以外はほぼ営業を再開したことで、日中は少し人出がみられるようになってきているが、まだ通常の状態には程遠い。夜は全くといっていいほど、人出がなく、回復を待ち望んでいた飲食店は途方に暮れている。客と話をしても、まだ怖いといった感想がほとんどである。恐怖心を植え付けられた消費者の動きが回復するには時間が掛かるとみられ、巣籠り状態が続くことになる。また、消費者が外出しないと、特別定額給付金の効果も薄れ、生活消費材だけに恩恵が偏ることになる。野外でのイベント開催については、民間事業者だとパッシングにさらされるおそれがあるため、行政が率先して実験的に開催するなどして、感染状況を見極めながら、広げていくべきである。 |
| × | 商店街（代表者） | 販売量の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・青果物の輸入が不調ことから、国内産のりんごにまで影響が出ている。当社の商材も例年と比べて1か月も早く、出荷が止まっている。 |
| × | 一般小売店〔土産〕（経営者） | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言が全国に発令されてから、旅行客の減少が顕著になっている。前年比で9割以上の減少となっていることから、当店の売上も当然ながら厳しく、前年比は1けた台の数字となっている。緊急事態宣言が解除されても、しばらくの間は人の移動が制限されるため、この状況は当分続くことになる。 |
| × | 一般小売店〔酒〕（経営者） | お客様の様子 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響は当初の想定をはるかに超えている。ホテルや居酒屋、バー、スナックなどの取引先ほぼ全てが営業を自粛しており、売上を全く見込めない日が続いている。 |
| × | 百貨店（売場主任） | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・この1か月間、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、営業を自粛していたため、売上は非常に厳しい状況となっている。 |
| × | 百貨店（販売促進担当） | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる営業自粛の影響で、一部フロアのみ営業となっており、売上への影響が計り知れない状況にある。 |
| × | 百貨店（営業販売担当） | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。緊急事態宣言が解除された後も、年配の客を中心に客足が戻っていない。 |
| × | スーパー（店長） | それ以外 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、来客数が大幅に減少している。広域からの集客が完全に止まっている。 |
| × | スーパー（役員） | お客様の様子 | <ul style="list-style-type: none"> ・特別定額給付金10万円の支給が開始されたことで、ATMの前に人が並んでいるが、店内での食品購入にはつながない。家賃など、緊急性の高い支払が必要な人が多いとみられる。 |
| × | コンビニ（エリア担当） | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で観光客が減少しているほか、夜間の客の動きが非常に悪くなっている。 |
| × | コンビニ（エリア担当） | 販売量の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響が拡大している。飲食店への酒類の納品がますます減少している。 |
| × | 乗用車販売店（経営者） | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが流行する中、緊急事態宣言に伴い、客が必要以外の外出を控えている。また、積極的なイベント告知をできないため、土日のイベントへの来客数も少なく、新型車が出てにもぎわいがみられない。 |
| × | 乗用車販売店（従業員） | 販売量の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・車両受注が3か月前と比べて8割以上減少している。前年との比較でも8割減となっている。 |
| × | 高級レストラン（経営者） | 販売量の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・とにかく客が来ない。 |
| × | 高級レストラン（スタッフ） | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で臨時休業しており、従業員は最低人数を残して一時帰休を実施している。緊急事態宣言の解除を受けて、ランチのみ営業を再開したが、開店休業状態である。売上は前年から96%の減少となっている。 |

| | | | |
|---|-------------------|--------|--|
| × | 高級レストラン (スタッフ) | 販売量の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・売上は前年比25%前後となっている。当店は持ち帰り料理を提供しなかったため、特に厳しかった。一時開店していた日も一般客は少なく、団体客はゼロであった。今後、自粛は緩和されるが、飲食店はまだ心配という客の声が根強いことから、予断を許さない状況にある。一方、特定の業種では売上アップの動きもみられる。路面の洋菓子店では母の日を中心に順調だったほか、食品の定期宅配便は従業員が足りないほどの注文があったと聞いている。また、小麦粉やコロッケなど、一部の家庭用食品が売れていることで、特定の工場が忙しいとの業者情報もあった。現実的には休ませたアルバイト従業員の休業補償や営業形態の見直しなど、対処すべきことは多いが、世間の様子をみながらの営業再開となりそうだ。 |
| × | 高級レストラン (スタッフ) | 販売量の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる自粛要請が響き、収入が落ち込んでいる。 |
| × | スナック (経営者) | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・景気が良いかどうかという以前に、営業をできないため、何かをすることも無理な状況となっている。 |
| × | 観光型ホテル (経営者) | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言の影響により、6月以降もほとんど予約が入っていない。解除されてもすぐに戻る状況にはなく、しばらく景気は悪化し続けることになる。 |
| × | 観光型ホテル (スタッフ) | それ以外 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月30日まで休業している。 |
| × | 旅行代理店 (従業員) | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緊急事態宣言に伴い、首都圏や北海道などが特別警戒都道府県とされたことで、観光需要及びビジネス需要が激減している。当地への航空便や鉄道などは運休、減便が相次ぐこととなったほか、春から夏にかけての各地のイベントなども全てキャンセルとなった。ホテル、土産店、観光バスなどは大きな打撃を受けており、行政の助成金や支払猶予策などで事業継続を図る状況となっている。 |
| × | 旅行代理店 (従業員) | それ以外 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で3か月前と比べて急激な落ち込みがみられる。取扱の全くない状況が3～5月と続いている。 |
| × | 旅行代理店 (従業員) | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモール内の店舗であり、ショッピングモール自体が新型コロナウイルスの影響で5月15日まで休業していたため、その間、営業できなかった。また、5月16日の営業再開後も新規予約はなく、取消しや払戻しのみに対応となっている。 |
| × | タクシー運転手 | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で2月28日に北海道知事による緊急事態宣言が発出されてから3か月たつが、売上の前年比は、3月がマイナス40%、4月がマイナス50%、5月がマイナス60%となっており、毎月、1000～1500万円の赤字となっている。5月25日に緊急事態宣言が解除されたが、今のところタクシーは回復しておらず、このままでは資金力のないタクシー会社の倒産が続出することになる。 |
| × | タクシー運転手 | 販売量の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・月を追うごとに売上が減少しており、企業存続が危ういレベルにまで達している。救済策の実行も遅過ぎる。 |
| × | タクシー運転手 | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・ここ3か月、新型コロナウイルスの影響で、外国人観光客や国内観光客の利用、イベント関係の実績がほぼゼロだった。普通タクシーの利用実績も通常の6～7割減である。 |
| × | タクシー運転手 | 販売量の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出制限により、多大な影響を受けており、営業収入は前年比35%まで落ち込んでいる。 |
| × | タクシー運転手 | お客様の様子 | <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー業界では、今回の新型コロナウイルスの影響もあり、地元客及び観光客の動きについて、全く先のみえない状況となっている。この影響がいつまで続くかも予測できない。 |
| × | タクシー運転手 | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言が発令されたことで、タクシーの稼働状況は前年の50%となっている。今後、経営を持続できるかどうか、危機的なところまできている。 |
| × | 通信会社 (企画担当) | 販売量の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・営業時間の短縮や来店目的による入店制限を行わざるを得ないため、来客数が前年比30%程度にまで落ち込んだ。 |
| × | 観光名所 (従業員) | 来客数の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、5月は丸々1か月、休業しており、営業活動をできなかった。 |

| | | | | |
|--------|---|------------------------------|------------|---|
| | × | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルスに対する自粛として、営業時間を午前中のみ短縮したほか、客同士の間隔を一定の間隔を確保することを目的とした予約制限を実施している。そのため、来客数及び売上は前年から60%程度の減少となっている。 |
| | × | 美容室（経営者） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月は自主的に営業時間を短縮した。また、従業員の健康管理を行うために臨時休業を増やしたり、入場制限を行うなど、新しい営業スタイルを取り込んでおり、結果的に来客数が落ち込んだ。 |
| | × | 美容室（経営者） | それ以外 | ・新型コロナウイルスに係る補償問題など、全ての対応が遅いため、景気は悪くなっている。 |
| | × | その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員） | 来客数の動き | ・新型コロナウイルス感染拡大の影響から、特に旅客の輸送量が激減しており、前年から約90%の減少となっている。 |
| | × | 住宅販売会社（経営者） | お客様の様子 | ・客の外出が制限されているため、住宅関連では、モデルハウスの訪問営業などをほとんどできず、新規受注を期待できない状況にある。 |
| | × | 住宅販売会社（経営者） | それ以外 | ・自粛が続いているため、分譲マンションの営業活動も活発にできない状態にある。 |
| 企業動向関連 | ◎ | 食料品製造業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・2020年5月の販売量は前年比プラス4%だったが、3か月前の販売量は同マイナス1%だったため、景気は良くなっている。 |
| （北海道） | ○ | その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・建設現場の動きが想定していたほど止まっていないため、景気はやや良くなっている。 |
| | □ | 家具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・世界的な新型コロナウイルスのまん延により、経済活動が停滞している。北海道においては第2波の影響もあり、家具インテリア産業も大きな影響を受けている。 |
| | □ | 建設業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・年度末にしゅん工した建設工事が減少していたものの、新年度発注の工事が多く、不足分を穴埋めできている。 |
| | ▲ | 金属製品製造業（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・4～5月の受注が前年比で20%程度落ち込んでいる。今後は、一層深刻になると見込まれる。 |
| | ▲ | 建設業（役員） | 受注量や販売量の動き | ・公共土木工事については、新年度受注分の着工期を予定どおり迎えつつある。一方、民間建築工事については、新型コロナウイルスの影響により発注企業の活動が停滞しており、着工遅れや新規商談の先送りの一部が発生している。 |
| | ▲ | 輸送業（営業担当） | 受注量や販売量の動き | ・北海道と本州間の輸送における新型コロナウイルスの影響は、当初、飲料や生乳関連に限定されていたが、経済活動の停滞に伴い、紙パルプ関連や一般雑貨にも影響が出始めている。 |
| | ▲ | 司法書士 | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済状況の悪化により、不動産業者や建設業者の活動が停滞しており、景気は悪化している。 |
| | ▲ | 司法書士 | 取引先の様子 | ・例年と比較して不動産の売買が少ない。また、新型コロナウイルスの影響により新築工事の受注も少なくなっている。 |
| | ▲ | コピーサービス業（従業員） | 取引先の様子 | ・業種にもよるが、外部に金を出さない方針を固めた客が増えてきている。特に保守などの役務について、継続契約が厳しい状況となっている。 |
| | ▲ | その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・派遣事業での自宅待機が増えてきている。 |
| | ▲ | その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当） | 受注量や販売量の動き | ・5月に入り、売上が前年をやや下回るようになってきている。公共工事関連における新型コロナウイルスの影響は少ないとみられるが、民間設備投資は景気後退により、今後、悪化傾向をたどることになる。 |
| | ▲ | その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長） | 取引先の様子 | ・先行きが不透明なことから、設備投資を控える動きがみられる。 |
| | ▲ | その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員） | 受注量や販売量の動き | ・3か月前の目標受注量は維持しているが、毎月少しずつ受注量が落ち込み始めている。 |

| | | | | |
|----------|---|--------------------|----------------|---|
| | × | 食料品製造業 (従業員) | 受注量や販売量 の動き | ・5月の売上は前月比で2割減、前年比で3割減と なっている。 |
| | × | 通信業(営業担 当) | 受注量や販売量 の動き | ・社会的な自粛の影響により、受注量、案件数が明ら かに減少している。 |
| | × | 金融業(従業 員) | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言 が発動されていることで、経済活動が停滞している。 また、新型コロナウイルスを要因とする倒産が増加す るとともに、非正規雇用の雇止めが発生しており、雇 用動向にも厳しさが増している。このため、道内景気 は3か月前と比べて悪くなっている。 |
| | × | 司法書士 | 取引先の様子 | ・新型コロナウイルスの影響で経済活動の自粛が続 き、自宅待機などが増えている結果、不動産取引の成 約が減少している。 |
| 雇用 関連 | ◎ | — | — | — |
| | ○ | — | — | — |
| (北海道) | □ | — | — | — |
| | ▲ | 求人情報誌製作 会社(編集者) | 求人数の動き | ・緊急事態宣言に伴う自粛により、飲食業やサービ スの求人数が半減している。今後もしばらく厳しい状 況が続くことになる。 |
| | ▲ | 職業安定所(職 員) | 求人数の動き | ・4月の有効求人倍率は0.98倍であり、前年を0.07ポ イント下回っている。 |
| | × | 人材派遣会社 (社員) | 求人数の動き | ・これまで堅調に推移していた求人数が減少に転じて いる。特に景気回復の流れを受けて、業容拡大に向 かっていた増員の求人が採用取りやめとなるなど、お よそ2割の求人が減少している。一方、採用に苦戦し ていたコールセンターなどは、採用に当たってハロー ワークや求人Webサイトを活用するようになってきて いる。派遣については、休業などで派遣の受入れが ストップするなど、急激な変化を受けて、企業の人材 ニーズが足踏みとなっている。 |
| | × | 求人情報誌製作 会社(編集者) | 求人数の動き | ・新型コロナウイルスの影響で観光客がゼロの状態と なっていること、感染者の増加傾向が続いていること などから、求人件数は激減している。インバウンドや 観光と関係のない業界も求人を探る状況になってい る。一方、介護やスーパー、運輸などの求人は反響が 良く、堅調に推移している。 |
| | × | 求人情報誌製作 会社(編集者) | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態 宣言の発令に伴い、休業している店舗が多く、消費 者の自粛行動も進んでいる。経済が正常に動いていな いため、景気は悪くなっている。 |
| | × | 求人情報誌製作 会社(編集者) | 求人数の動き | ・例年同時期と比べて、50%程度の出稿量にとどま っている。特に出稿量の落ち込みのひどい業界として 、宿泊業の95%減、娯楽業の90%減、飲食業の80%減 、ナイトワークの75%減などがある。これらの業界にお いては、倒産、廃業、閉店が多数みられる。 |
| | × | 職業安定所(職 員) | 求人数の動き | ・4月の有効求人倍率は0.93倍であり、前年を0.14ポ イント下回っている。今年1月以降、落ち込み幅が拡 大している傾向にある。 |
| | × | 職業安定所(職 員) | 周辺企業の様子 | ・新型コロナウイルスの影響で休業要請が行われて いることに加えて、客が来ないことから自主的に休業 している会社が業種にかかわらず幅広く発生してい る。緊急事態宣言が解除されても、まだ一定期間は景 気の悪い状態が続く。 |
| | × | 学校[大学] (就職担当) | それ以外 | ・求人数も新卒求職者の動向も最悪の状況にある。政 府が明確な対策と行動を示さなければ、秋頃まで事態 は悪化し続ける。 |